

不良債権の状況 —紀陽銀行単体—

不良債権(金融再生法開示債権)

引き続き、お取引先の事業再生や経営改善支援への取り組みを強化し、不良債権削減に努めた結果、平成23年3月末の不良債権比率は、前期末比0.05%低下し、3.74%となりました。

また、不良債権残高は、前期末比7億円増加の950億円となりました。

不良債権額(金融再生法に基づく開示債権)および不良債権比率



金融再生法に基づく開示債権
貸出金、支払承諾見返、外国為替、銀行保証付私募債、仮払金等が対象。なお、銀行保証付私募債については「金融商品に関する会計基準」の適用に伴い、貸借対照表計上額(時価)にて表示しております。

- 破産更生債権およびこれらに準ずる債権
破産、会社更生、民事再生等の事由により経営破綻した貸出先に対する債権およびこれらに準ずる債権
- 危険債権
経営破綻の状況には陥っていないものの財政状態や経営成績が悪化し、契約に従った元金回収ができない可能性が高い貸出先に対する債権
- 要管理債権
3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権(経済的困難に陥った貸出先の再建・支援を図るため金利減免や元金の支払猶予など貸出先に有利な貸出条件の変更を行った債権)の合計

不良債権(金融再生法に基づく開示債権)の保全状況

(平成23年3月末現在)

平成23年3月末の不良債権総額950億円のうち、85.3%は引当金や担保・保証等により保全されております。

(単位:億円)

区分	与信残高	担保・保証等			引当額	未保全額	保全率
		優良担保 優良保証	不動産担保	その他			
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	245	232	161	35	12	—	100.0%
危険債権	627	414	273	90	110	102	83.6%
要管理債権	78	29	0	28	12	36	53.1%
金融再生法開示債権合計	950	676	435	154	135	139	85.3%
正常債権	24,447						
総与信	25,397						

※優良担保：預金、有価証券等
※優良保証：政府、信用保証協会、金融機関、上場有会社等による保証

リスク管理債権の状況

(単位:億円)

リスク管理債権	平成20年 3月末	平成21年 3月末	平成22年 3月末	平成23年 3月末	平成22年3月末対比
	破綻先債権	47	80	59	39
延滞債権	905	781	784	828	44
3か月以上延滞債権	10	7	4	0	▲ 4
貸出条件緩和債権	203	77	83	77	▲ 6
合計	1,167	947	932	946	14

(単位:億円)

貸出金残高(未残)	22,725	23,856	24,515	25,051	536
-----------	--------	--------	--------	--------	-----

(単位:%)

貸出金に占めるリスク管理債権の割合	5.13	3.96	3.80	3.77	▲ 0.03
-------------------	------	------	------	------	--------

※リスク管理債権:貸出金が対象

経営概況

紀陽ホールディングス
資料編

紀陽銀行
資料編

第3の柱に基づく開示事項
パーセルII